

1. Press Releases/Topics

「岐阜大学×十六銀行×NEXCO中日本 地域商材発掘プロジェクト」ワークショップおよび商談会 を開催します

当行は昨年度に引き続き、岐阜大学地域協学センター（以下、「岐阜大学」という）および中日本高速道路株式会社名古屋支社（以下、「NEXCO中日本」という）との共催で、岐阜県内のサービスエリア（SA）やパーキングエリア（PA）と地元事業者とのワークショップおよび商談会を開催し、岐阜県ならではの魅力的な商材の発掘を行います。

ワークショップでは、地元事業者と岐阜大学学生がグループディスカッションを行い、若者の声を活かして地域商材の魅力を引き出します。商談会では、岐阜県の農林水産物や工芸など地域資源を活かした食品・土産品を提供する地元事業者とSA・PAのテナント事業者とのマッチングを行うことで、SA・PAの来訪者に地元の「いいもの・おいしいもの」を楽しんでいただける商材を発掘するとともに、地元事業者の事業機会創出を支援します。当行は引き続き、本プロジェクトにより地域の活性化と将来を担う人材の育成に貢献してまいります。

目次

- 1 Press Releases/Topics
- 2 公的機関情報
- 3 経営教室
- 4 産学連携情報

名称	ワークショップ	商談会
日時	平成30年1月24日(水) 13時30分～17時00分	平成30年3月14日(水) 10時00分～17時00分
場所	岐阜大学サテライトキャンパス (岐阜市吉野町6丁目31番地 岐阜スカイウイング 37 東棟 4階)	じゅうろくプラザ (岐阜市橋本町1丁目10番地11)
募集対象企業	バイヤーが提案を希望する事業分野の商材等を有する当行のお取引先企業さま、または岐阜県下商工会議所・商工会会員企業さま	
内容	第1部 ①高速道路SA・PAを知る ②テナントニーズを知る ③FCPシートの記入方法を知る 第2部 地元事業者が提案力を高めるためのグループディスカッション ※参加事業者＋岐阜大学学生＋十六銀行＋NEXCO中日本で模擬プレゼンテーションと提案内容に対する意見交換を実施	バイヤー（SA・PAのテナント）に対し、岐阜県の農林水産物や工芸など地域資源を活かした食品・土産品を売り込むための商談会 ・自社の商品やサービス等をアピールする個別商談形式で実施します。 ・商談時間は1商談につき25分です。 ※参加バイヤー（SA・PAテナント事業者）や、バイヤーニーズ詳細については、当行ホームページをご確認ください。
参加費	無料	商談を設定した場合、参加事業者1社あたり5,400円(税込)をいただきます。
募集企業数	20社程度	商談の申込はバイヤー3社までとします。各バイヤーの面談企業数は12社を上限とします。
申込方法	参加申込書をご記入のうえ、FAX(058-263-8150)にてお申し込みください。	エントリーシート・FCPシートをご記入のうえ、会社案内を添付し、当行各支店にお申し込みください。
備考	詳細につきましては、当行ホームページをご確認ください。ワークショップ・商談会の参加申込資料については、すべて当行ホームページよりダウンロードが可能です。	
問い合わせ先	十六銀行 法人営業部 地域開発グループ TEL:058-266-2523	

「人手不足対策セミナー」～シニア人材の活用による経営戦略について～ を開催します

当行は、平成29年11月に岐阜労働局との間で締結した「働き方改革に係る包括連携協定」の一環として、「人手不足対策セミナー」を開催します。

本セミナーは、岐阜県内で中小企業における人手不足が顕在化するなか、「働き方改革」の文脈において、労働力不足の解消策として注目されている高齢者雇用に焦点をあてることで、人材確保に関する企業の意識改革を促すことを目的として開催します。

日時	平成30年2月2日(金) 14時00分～16時15分
場所	岐阜商工会議所5階 議員総会室 (岐阜市神田町2-2)
対象	人材採用にお悩みの経営者・人材採用担当者および、シニア人材の活用にご関心のある自治体担当者
内容	第1部 演題:「なぜ、今“シニア人材の活用”が必要なのか？」 講師:岐阜労働局 職業安定部 職業対策課 職業対策課長 武藤 俊逸 氏 第2部 演題:「シニア人材を活用している中小企業の取組事例」 講師:株式会社加藤製作所 代表取締役社長 加藤 景司 氏
定員	50名
参加費	無料
申込方法	当行ホームページ、またはFAX(058-263-8150)にてお申し込みください。
共催	株式会社十六総合研究所
後援	岐阜労働局、岐阜県、岐阜商工会議所
問い合わせ先	十六銀行 公務営業部 TEL:058-266-2527

当行の無料相談サービス

◆法律相談会 …開催日の2日前までに事前予約要(無料)

十六総合研究所会場 (十六ビル7階)	
2月6日	(火) 13:45～15:05
2月13日	(火) 13:45～15:05
2月20日	(火) 13:45～15:05
2月27日	(火) 13:45～15:05

(渡辺弁護士/お1人さま20分)

PLAZA JUROKU名古屋支店会場 (名古屋ビル17階)	
2月5日	(月) 13:30～15:00
2月13日	(火) 13:30～15:00
2月20日	(火) 13:30～15:00
2月27日	(火) 13:30～15:00

(山口弁護士/お1人さま30分)

※会場は山口敬二法律事務所(JR名古屋駅徒歩5分)に変更される場合があります。

◆税務相談会 …事前予約要(無料)

十六総合研究所会場 (十六ビル7階)	
2月7日	(水) 13:00～16:00
2月15日	(木) 13:00～16:00

PLAZA JUROKU名古屋支店会場 (名古屋ビル17階)	
2月8日	(木) 13:00～16:00

PLAZA JUROKU岐阜支店会場 (岐阜スカイウイング37 東棟1階)	
2月1日	(木) 13:00～16:00

星が丘支店会場	
2月21日	(水) 13:00～15:30

(全会場 小野税理士/お1人さま30分)

北長良支店会場	
2月14日	(水) 13:00～15:30

※諸事情により、開催日・会場が変更になる場合がありますので、本サービスの利用をご検討の際は、お取引店にご相談ください。

2. 公的機関情報

▶ 「環境ビジネス産学連携セミナー」の開催

受付中！【1/15まで】

主催	中部経済産業局
内容	<p>中部経済産業局では、「廃棄物」の環境分野へのビジネス展開の可能性を探るべく、産学連携セミナー並びにセミナーで講演される研究機関・事業者とのマッチング(個別面談)を開催します。</p> <p>■産学連携テーマの紹介(各20分)</p> <p>①岐阜大学 大学院工学研究科 環境エネルギーシステム専攻 准教授 小林 信介氏 「高含水率有機廃棄物の高効率エネルギー化技術 ～効率的な乾燥と熱利用～」</p> <p>②名古屋工業大学 社会工学専攻 准教授 吉田 奈央子氏 「嫌氣的脱ハロゲン化呼吸細菌を用いた有機ハロゲン汚染環境浄化」</p> <p>③豊橋技術科学大学 環境・生命工学系 特任准教授 熱田 洋一氏 「小規模普及型嫌気性消化システム ～産学融合コンソーシアムによる事業推進～」</p> <p>■事業化事例の紹介 プレスコ株式会社 代表取締役 江藤 啓介氏 「廃棄物を化石燃料を使わずに(CO2削減しつつ)有価物に変え、産廃処理費用を削減する最新技術」</p> <p>■マッチング会(個別面談) ご講演いただいた大学研究者、事業者と個別面談を設定します。</p>
日時	平成30年1月24日(水) 13時30分～17時00分
場所	名古屋栄ビルディング 12階 特別会議室(名古屋市東区武平町5-1)
参加費	無料
対象者	「廃棄物」分野のビジネス展開に関心のある企業
参照サイト	中部経済産業局 http://www.chubu.meti.go.jp/d21kankyo/171121/index.html

▶ 「商品開発ワークショップ」の開催

受付中！

主催	公益財団法人岐阜県産業経済振興センター 岐阜県よろず支援拠点
内容	<p>岐阜県よろず支援拠点では「商品開発」をテーマとしたワークショップ(講義と演習・グループワーク)を行います。中小企業は、これまでのような他社依存型の事業モデルから脱却し、付加価値の高い自社の商品・サービスを開発・販売してゆく必要性に駆られています。このワークショップは、そのための体系的・実践的ノウハウを身につけていただく良い機会となりますので、ご参加ください。</p> <p>【第1回】岐阜から生まれたヒット商品開発秘話</p> <p>【第2回】商品開発に求められる基本的な要素</p> <p>【第3回】商品開発の勘どころ・成功の方程式</p> <p>【第4回】商品の魅力を伝えるブランディング 講師:三輪 知生(岐阜県よろず支援拠点 チーフコーディネーター) ※第2～4回では、講義と演習・グループワークを行います。</p>
日時	<p>【第1回】平成30年1月15日(月) 【第2回】平成30年1月22日(月)</p> <p>【第3回】平成30年1月29日(月) 【第4回】平成30年2月5日(月)</p> <p>各回13時30分～16時30分</p> <p>※原則として4回を通してのご参加をお願いいたします。</p>
場所	OKB ふれあい会館 401 会議室 (岐阜市藪田南5-14-53)
対象	岐阜県内中小企業者等
定員	各回20名
参加費	無料
参照サイト	(公財)岐阜県産業経済振興センター 産業振興部 よろず支援拠点担当 http://www.gpc-gifu.or.jp/topics/2017112901/index.asp

➤ 「ものづくり IoT 活用ワークショップ」の開催

受付中！

主催	中部経済産業局
内容	<p>中部経済産業局では、ものづくり企業の研究開発の事業化を支援するため、自社の強みを生かしたIoT利活用をテーマに、IoTの総論から活用までを学んでいただける全3回のワークショップを開催いたします。講演後には講師とのディスカッションの時間を設けますので、IoTに関する疑問や悩みについて意見交換し、IoT利活用にお役立てください。 ※必ず3回全てに出席いただく必要はございません。</p> <p>【第1回】IoT がもたらす中小ものづくり企業の現場革新 講師: 日本アイ・ビー・エム株式会社 自動車産業 CTO(技術理事) 北山 浩透氏 中部経済産業局 次世代産業課</p> <p>【第2回】ものづくり企業のIoT 活用に関する取組 講師: 株式会社岐阜多田精機 代表取締役社長 多田 憲生氏</p> <p>【第3回】複数企業間におけるIoT/データ利活用及び流通の取組 講師: 株式会社由紀精密 取締役 営業部長 笠原 真樹氏</p>
日時	<p>【第1回】平成30年1月19日(金) 【第2回】平成30年2月5日(月)</p> <p>【第3回】平成30年2月28日(水) 各回 15時00分～17時00分</p>
場所	PwC コンサルティング合同会社(名古屋市中村区名駅 1-1-4 JRセントラルタワーズ 38F)
参加費	無料
定員	各回 50名
参照サイト	<p>中部経済産業局 地域経済部 産業技術課</p> <p>http://www.chubu.meti.go.jp/b31technology/sapoin/2017jigyoka/iotseminar/iotseminar.html</p>

➤ 「自動車分野競争力向上セミナー 自動車分野で生き残るために」の開催

受付中！【1/19まで】

主催	(公財)岐阜県産業経済振興センター
内容	<p>自動車分野では、市場構造だけにとどまらず、EV化により産業構造においても劇的な変化に直面しています。世界中の大手自動車関連企業の動向が日々報じられる中で、中小企業はどのように情報収集を行い、どういった課題に対して経営資源を分配し、未来に向けた投資を行っていくべきでしょうか？</p> <p>本セミナーでは、自動車メーカーのエキスパートリーダーを講師に招き、激変する自動車分野の潮流に加え、中小企業に求められる役割についてもご講演頂きます。</p> <p>【第1部】自動車セミナー ～劇的な変化にどう対応すべきか～ 【第2部】グループワーク ～課題の見える化・解決方法を探る～ 講師: 日産自動車株式会社 車両生産技術部 エキスパートリーダー 柳原 秀基氏</p> <p>※セミナー終了後、講師を囲んでの交流会の開催を予定しております。(会場までバスを運行予定) 交流会:17時30分～19時30分 定員:15名(先着順) 会費:4,000円(税込)</p>
日時	平成30年2月1日(木)13:30～16:40
場所	OKB ふれあい会館(県民ふれあい会館) 14階 展望レセプションルーム (岐阜市藪田南5丁目14番53号)
対象	県内に事業所をもつ企業の経営者・幹部社員(工場長・部門長クラス)
参加費	無料
定員	30名(先着順)
参照サイト	<p>岐阜県産業経済振興センター 経営支援部 取引課</p> <p>http://www.gpc-gifu.or.jp/topics/2017121302/index.asp</p>

➤ 『**岐阜県よろず支援拠点ビジネス講演会 in 多治見「き」業展**』の開催

受付中！

主 催	(公財)岐阜県産業経済振興センター、多治見市
内 容	<p>岐阜県産業経済振興センターは、多治見ビジネスフェア「き」業展(※)にて、商品開発についての講演会を行います。</p> <p>テーマ:「ヒット商品 開発の極意 ～岐阜から生まれたヒット商品のあれこれ～」 講 師:岐阜県よろず支援拠点 チーフコーディネーター 三輪 知生 「大地のかりんとう」、さっと差し込みすっと溶けるアイスクリームスプーンなど、大ヒット商品の開発秘話をお伝えします。これらの商品は、今ある人材、今ある技術、今ある設備から生まれました。ヒット商品誕生のターニングポイントと開発の極意に迫ります。</p> <p>(※)多治見ビジネスフェア「き」業展は、地元金融機関をはじめ、岐阜県東濃・中濃地方、愛知県尾張・三河地方を中心とした商工会議所、商工会、その他諸団体のご協力のもと、出展者のビジネスの一助としていただくとともに、中部地方一円の地域活性化に資する事を目的として開催しております。</p>
日 時	平成 30 年 2 月 3 日(土) 13 時 00 分～15 時 00 分
場 所	セラミックパーク MINO 内 国際会議場(岐阜県多治見市東町 4-2-5)
参加費	無料
定 員	80 名(先着順)
参照サイト	岐阜県産業経済振興センター http://www.gpc-gifu.or.jp/topics/2017122701/index.asp

➤ 『**事業成長のための適材適所推進 体感型ワークショップセミナー**』の開催

受付中！

主 催	中部経済産業局
内 容	<p>中部経済産業局では、名古屋において「事業成長のための適材適所推進 体感型ワークショップセミナー」を開催いたします。</p> <p>本セミナーでは、東海地域の企業経営者及び人事・総務担当者を対象に、ゲーム形式のケーススタディで、楽しく人手不足の解消法を体感することを狙いとしております。</p> <p>採用にお悩みの企業経営者や人事・総務担当者の皆様のご参加をお待ちしております。</p> <p>STEP1/例題企業を参考に、人材戦略を立案する STEP2/人材に対する捉え方を広げる STEP3/人材の適材適所を体感する STEP4/身の回りにある環境で考える</p> <p><ファシリテーター> 株式会社 Voice Vision エグゼクティブ コミュニティプロデューサー 田中和子氏</p>
日 時	平成 30 年 2 月 14 日(水) 14:00～16:00
場 所	ガーデンシティ PREMIUM 名古屋新幹線口 バンケットホール 7C (愛知県名古屋市中村区椿町 1-16 井門名古屋ビル 7 階)
対 象	企業経営者、人事・総務担当者など
参加費	無料
定 員	35 名(先着順)
参照サイト	中部経済産業局 地域人材政策室(ものづくり女子の活躍応援サイト) http://www.chubu.meti.go.jp/b12mono_woman/kennsyuu.html

➤ 「産業用ロボット導入・活用のための大相談会」の開催

受付中！【1/22まで】

主 催	国立大学法人名古屋工業大学、中部経済産業局
内 容	<p>名古屋工業大学および中部経済産業局は、中小製造業へのロボット導入促進やロボットSIerの知名度向上を目的に、「産業用ロボット導入・活用のための大相談会」を開催します。つきましては、この相談会への出展企業(ロボットシステムインテグレーター、ロボットメーカーなど)を以下の通り募集します。</p> <p>※出展企業は決まり次第、名古屋工業大学産学官9金連携機構ホームページにて公表予定です。</p> <p>【募集要項】 募集対象 :ロボットシステムインテグレーター、ロボットメーカーなど 募集小間数:22小間(予定) 出展費用 :無料</p>
日 時	平成30年2月23日(金)11時00分～17時00分
場 所	名古屋工業大学 新講堂 NITech Hall(ナイテック・ホール) (愛知県名古屋市昭和区御器所町字木市29番)
対 象	生産性の向上、品質の安定化、人手不足の解消等、経営課題の解決に向けて産業用ロボットの導入を検討する中小製造業
参照サイト	名古屋工業大学 産学官金連携機構 http://tic.web.nitech.ac.jp/

➤ 「デザインセミナー『デザインを活用した地域のものづくり』」の開催

受付中！【2/20まで】

主 催	(公財)岐阜県産業経済振興センター
内 容	<p>岐阜県産業経済振興センターでは、「新商品を開発したい」、「外部デザイナーにデザインを依頼してみたい」など、新商品開発を希望する中小企業を支援しています。</p> <p>今回は、ブランド『MOLATURA』を立ち上げ、自社の技術を最大限にアピールした商品である『SAMURA-IN』をはじめとした商品開発に取り組んでいる企業の代表者と、ブランドの立ち上げ、開発に携わっているデザイナーの方々からブランド誕生や開発秘話等を伺いながら、デザインの活用法のヒントとなるものを探ります。</p> <p><ファシリテーター> COLOR DESIGN CENTER 代表 奥山 泰助氏</p> <p><パネリスト> 大同大学 情報学部情報デザイン学科准教授 岡田 心氏 株式会社中村製作所 代表取締役 山添 卓也氏 株式会社RW 代表取締役 稲波 伸行氏</p>
日 時	平成30年3月12日(月)14時00分～16時00分
場 所	みんなの森 ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ (岐阜市司町40-5)
対 象	岐阜県内のモノづくりに関わる中小企業、デザイナー等
定 員	70名(先着順)
参加費	無料
参照サイト	(公財)岐阜県産業経済振興センター http://www.gpc-gifu.or.jp/topics/2017121301/index.asp

3. 経営教室

国際税務教室

恒久的施設（PE）規定の見直し（平成30年度税制改正大綱）

平成30年度税制改正の大綱が決定されました（※1）。国際課税についてみれば、恒久的施設（Permanent Establishment）—以下、「PE」とします。—関連規定の見直しを行うとされています。

OECDモデル租税条約では、二重課税防止のため、事業所得に対する源泉地国での課税は、その国にPEが存在する場合についてのみ受けるとされており、国際的課税ルールといえます。

PEには、支店や工場等、事業を行う一定の場所であって、事業の全部もしくは一部を行う場所に加えて、（そのような場所を持たなくても）企業の名で契約を締結する者も該当する（以下、「代理人PE」とします。）とされています（※2）。この場合、源泉地国内の販売契約の名義が企業ではなく代理人である場合は、代理人PEに該当しないことから、企業が源泉地国内の受託者に販売を委託する契約（いわゆる「コミッションネア契約」）を締結し、源泉地国内で受託者が（企業ではなく）受託者の名で販売契約を締結するといった、人為的なPE認定の回避が問題視されていました。

このようなコミッションネア契約による人為的なPE認定の回避に対処するため、OECDのBEPSプロジェクトでは、代理人PEの定義を現状より拡張する行動計画が定められています（※3）。

平成30年度の改正はこのBEPS行動計画を受けたものであり、代理人PEの定義が見直されることによりその範囲が拡張されます。すなわち、非居住者等の資産の所有権の移転に関する契約を反復して締結し、又は、契約締結のために反復して主要な役割を果たす者を代理人PEに加えるとされています。（※1）平成29年12月22日閣議決定。（※2）OECDモデル租税条約第5条。なお、代理人業を通常業務とする独立代理人は除かれます。（※3）BEPS行動計画7「恒久的施設（PE）認定の人為的回避の防止」

国内税務教室

事業承継税制の現状と今後

今後の税制改正の原案となる平成30年度税制改正大綱が、先月22日に閣議決定されました。今回の税制改正大綱の目玉の一つが「事業承継税制の拡充」です。平成21年に創設された事業承継税制は、事業承継の円滑化を趣旨として、中小企業の株式に係る相続税や贈与税の納税が大幅に猶予・減免されるものであり、今回予定されている拡充内容は以下の通りです。

1. 納税猶予対象が100%へ拡充

納税猶予の対象となる株式数が2/3から制限なしに、納税猶予される割合が80%から全額に引上げられます。ただし、施行日後5年以内に認定革新支援機関の指導・助言を受け、後継者や経営見通し等が記載された承継計画を作成する必要があります。

2. 経営者以外の株主から贈与等された株式も納税猶予対象に

後継者が経営者以外の株主から贈与等を受けた場合にも納税猶予の対象となり、更に納税猶予の対象となる後継者が、1名から複数名に拡充されます。

3. 納税猶予の条件としての雇用確保要件の緩和

従業員の雇用確保要件を満たすことができなかった場合であっても、一定の書類を都道府県に提出することを条件として猶予期限が延長されます。

4. 経営環境が変化した場合の減免制度

経営環境が悪化（一定の条件あり）して、株式を譲渡するとき、又は合併・解散によって会社が消滅するとき等には、納税猶予税額が免除されることになりました。

（「国際税務教室・国内税務教室」執筆者）

税理士法人 成和 / 社会保険労務士法人 成和 成和グループ代表 渡辺 基成

電話番号：058-295-7077 058-295-2055（岐阜事務所） / 052-433-2112（名古屋事務所）

E-mail: info@seiwa-group.jp Website: <http://www.seiwa-group.jp/>

4. 産学連携情報

今月号のテーマ

作業支援ロボットに搭載可能な賢い音声対話機能の開発を

人工知能を画像、音声、パターン認識に応用し、それぞれの情報処理能力や精度の向上を図るとともに、ロボットの行動やセンサー情報などと組み合わせることで更に高度で実用に即したシステムを研究している名古屋工業大学の田口亮助教。

作業支援ロボットを発話による音声で動かすことができれば、操作が簡単になる上、両手がふさがった状態でも作業を続行できるため、作業効率のアップが望める。製造や点検、保守管理、介護などの業務を補助するロボットやウェアラブル端末に音声認識機能を搭載して、自ら言葉と動作の関連性を学んで賢く対応できる協働ロボットの開発を目指す。



◇ロボットによる語彙学習

家庭やオフィスのような環境で稼働するロボットは、開発者が想定できない未知の人や物、場所に遭遇する機会が多いため、従来の音声対話システムのように言語知識を事前に定義するのではなく、利用者の自然な発話から学習できることが望ましい。人間の幼児が言葉を覚えるように、ロボットが利用者とのやり取りを通じて語彙を増やし、言語知識を深めていくことで、利用者や作業環境によって異なる言語表現にも適切に対応できるようになる。

この語彙学習システムは、単語ではなく、連続音声としての文の中からキーワードに該当する語句を切り出すことができるのが特徴。知っている言葉か、知らない言葉かをまず判定し、知らない言葉だった場合、もう一度別の言葉で言い換えるか、画面への入力を要求し、動作後に学習データを登録する。

このようにロボットが人間とのやり取りを繰り返すうちに、日々学習して賢くなっていくイメージ。言った人の癖も認識できるようになれば、あいまいな発話でも人間の意図をくみ取って作業し、有能な秘書のような存在になり得る。

◇具体的なサービスロボットへの搭載

単にコミュニケーションを取ることを目的としたロボットではなく、ある種の仕事に限った上でやり取りできるロボットを想定し、同専攻梅崎・田口研究室で開発した車両外観傷検査ロボットに音声対話機能を搭載。実運用に向けて研究を進めている。

車両外観傷検査ロボットは、レンタカーや中古車販売業を対象にした移動式のサービスロボットで、LED照明光を車体に照射し、その反射光を撮影した画像を分析して傷を検出する仕組み。タッチパネル操作に加えて、発話による命令が可能で、作業員からの音声命令を学習して、検査業務の中で言葉を覚えていく。人によって多少の違いが生じる未知の言い回しも記憶し、指定された場所まで移動したり、作業員が求める画像を表示したりと、発話命令に従って業務を遂行する。

今後は、空港で荷物を運ぶロボットや、介護補助ロボットなど、別の業種の作業支援ロボットに音声対話機能を搭載して、実際の現場での活用を目指す。

国立大学法人名古屋工業大学 産学官金連携機構

電話番号：052-735-5627

E-mail: c-socc@adm.nitech.ac.jp Website: <http://tic.web.nitech.ac.jp/>

※十六銀行の産官学連携支援サービスについてはお取引店にご相談ください。

編集・連絡先：**十六銀行 法人営業部****(058-266-2523)****愛知営業本部****(052-961-8761)**

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、商品の勧誘を目的としたものではありません。

本資料記載の情報は、法律上、会計上、税務上の助言を含むものではありません。法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談ください。

本資料は当行が信頼できると判断した各種メディア・データに基づき作成されておりますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。

また、本資料に記載された内容は予告なしに変更されることがあります。